職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	71 1X	長名					
専門学校穴吹動物	看護カレッ	平成18年3月	23日 岩洋	睪正俊	〒 (住所)	761-8056 香川県高松市上天神町	T721-1		
ジ 設置者名		設立認可年		表者名		087-826-2222	所在地		
学校法人穴吹		平成3年4月		て 忠嗣	T (#1.55)	760-0020 香川県高松市錦町1-2			
					(電話)	087-823-5700			-00=010==++-
<u>分野</u> 文化・教養		認定課程名・教養専門課程	認定学科動物看護総合			門士認定年度	高度専門士認定年		阿課程認定年度 6(2014)年度
X10 1X.R		XX-41 IW/E	30 107 E 1240 E	- 1 17	1 73	WEE(2010)-1/2		1 79.2	0(2011)-12
学科の目的	トリミングヤ	らトレーニングができる	る動物看護師を育てるこ	とを目的とする	5				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	取得可能 中途退学	ൂ資格∶愛玩動物看護 率:	師						
修業年限	昼夜		要な総授業時数又は総 位数	講事	轰	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	2,400 単位時間 126 単位		単位時間	0 単位時間	970 単位時間 31 単位	0 単位時間	0 単位時間 0 単位
生徒総定員	生徒男	€員(A) 留学生	E数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率			
90 人	82		0 人	0		20 %			
	■卒業者 ■就職希	数 (C) 望者数 (D)	: 24 : 23		人	-			
	■就職者	数 (E) :	23		人	-			
	■地元就	職者数 (F) (E/D)	18 100		人 %				
		に占める地元就職者	の割合 (F/E)			-			
	■卒業老Ⅰ	こ占める就職者の割1	78 今 (E/C)		%	-			
			96		%	-			
就職等の状況	■進学者 ■その他	剱	0		Λ	-			
	家事手伝								
		ι·							
	(令和	6 年度卒業	者に関する令和7年5月	1日時点の情報	報)				
	■主な就り	職先、業界等							
	(令和6年度								
		、ペットショップ等							
	30100100	()) > = >> +7							
	■民間の	評価機関等から第二				無			
第三者による	■民間の								
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第二		受審年月:		評価	結果を掲載した ムページURL		
	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下について(受審年月:		評価			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下について(壬意記載	受審年月:		評価			
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 、例えば以下についても 評価団体: w.anabuki-college.r	壬意記載	受審年月:		評価			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.r	壬意記載	受審年月:		評価			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.r z時間による算定) 総授業時数	IT意記載 iet/		ik n+ ψε	評価		2,400 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.r は時間による算定) 総授業時数 うち企業	H意記載 Het/ 等と連携した実験・実	習・実技の授業	業時数	評価		320 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.r は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	H意記載 Het/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授	習・実技の授業	業時数	評価		320 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.r は時間による算定) 総授業時数 うち企業	H 意記載 Het/ 等と連携した実験・実行等と連携した演習の授け 授業時数	習・実技の授業 業時数		評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.r は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	# まままで ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま ままま ままま まままま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・	実習・実績	評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.r z時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	# まままで	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	· 実習・実持)授業時数	評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.r z時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	# まままで ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま ままま ままま まままま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	· 実習・実持)授業時数	評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 、例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.r z時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修	# まままで	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	· 実習・実持)授業時数	評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について付 評価団体: www.anabuki-college.r z時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企	# まままで	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	· 実習・実持)授業時数	評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 0 単位時間 180 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へたの実施がれたの	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# まままでは ままま ままま ままま ままま ままま まままま まままま まま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担	・実習・実技 D授業時数 受業時数)	評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 0 単位時間 180 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# まままでは ままま ままま まままま まままま まままま まままま まままま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担	・実習・実技 D授業時数 受業時数)	評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 0 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# を と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した 大変・ 要と連携した 実等と連携した 実際・実 等と連携した 演習の単	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担	・実習・実技 D授業時数 受業時数)	評価		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へん、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# を と連携した実験・実行 等と連携した演習の授 授業時数 「うち企業等と連携した する企業等と連携した まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 習・実技の単位 位数	実習・実) 授業時数 受業時数) 立数	支の授業時数		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へん、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# を連携した実験・実活等と連携した演習の授業 「おった業等と連携した 「おった業等と連携した 「おった業等と連携した 「なった。 「なった。	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 習・実技の単位 位数	実習・実)授業時数 受業時数) 立数 実習・実	支の授業時数		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へん、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 で で で で で で で を を の を の で で で を の で で で う で う で う で う を う で う を う と う と う と う と う と う と う と う と う と	実習・実)授業時数) 受業時数) 立数 実習・実)単位数	支の授業時数		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へたの実施がれたの	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# を連携した実験・実活等と連携した演習の授業 「おった業等と連携した 「おった業等と連携した 「おった業等と連携した 「なった。 「なった。	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 で で で で で で で を を の を の で で で を の で で で う で う で う で う を う で う を う と う と う と う と う と う と う と う と う と	実習・実)授業時数) 受業時数) 立数 実習・実)単位数	支の授業時数		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況への実施がれた	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 で で で で で で で を を の を の で で で を の で で で う で う で う で う を う で う を う と う と う と う と う と う と う と う と う と	実習・実)授業時数) 受業時数) 立数 実習・実)単位数	支の授業時数		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 (例えば以下について付 評価団体: www.anabuki-college.r は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企を (うち企	# を連携した実験・実活等と連携した実験・実活等と連携した演習の授業 授業時数 「うち企業等と連携した オーラ ち企業等と連携したインター等と連携した演習の単位数 「うち企業等と連携した カち企業等と連携したインター等と連携したインター	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ニンシップの担 で を必修の実験・ た必修の実験・ た必修の実験・ た必修の演習の にと必修の演習の	実習・実)授業時数) 受業時数) 立数 実習・実)単位数	支の授業時数		320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# を連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した インター ・	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	実習・実者 シラック ・実習・実力 ・実習・実力 ・実習・実力 ・実習・実力 ・実別 ・実別 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	支の授業時数	A N - VURL	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# を連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	実習・実者 シラック ・実習・実力 ・実習・実力 ・実習・実力 ・実習・実力 ・実別 ・実別 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学	支の授業時数	A N - VURL	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位 10 単位 10 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 (例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.r を時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 での教当業年の での修業となる事門等談を企業を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を	# を連携した実験・実活を記載	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	実習・実計)授業時数)受業時数 立数 ・実習・実計 立数 ・実習・実計 の単位数 (専修学	表の授業時数 支の授業時数	ムベージUR L	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位 0 単位 6 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携後した況へたの実施がれたの	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について が	# を連携した実験・実活を記載	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	実習・実計)授業時数)受業時数 立数 ・実習・実計 立数 ・実習・実計 の単位数 (専修学	支の授業時数	ムベージUR L	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位 10 単位 10 単位 10 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等のいた況かに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第3 (例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.r を時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 での教当業年の での修業となる事門等談を企業を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を必要を	# を連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	実習・実計 (専修学 (専修学	表の授業時数 支の授業時数	ムベージUR L (1号)	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 126 単位 10 単位 0 単位 6 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した発習等の実施状況 (A、Bいずれ)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第3、例えば以下について が	# を連携した実験・実 等と連携した演習の授	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	・実習・実計	接の授業時数 支の授業時数 支の単位数 なの単位数 なの単位数	ムベージUR L 11号) 2号) 23号)	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位 10 単位 0 単位 10 単位 0 単位 5 単位 3 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施状か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第3、例えば以下について付 評価団体: www.anabuki-college.ru 理時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 でのをすす限と での担当業となる教育等数 年以 となる事等学校の教育等数 年以 となる事等学校教育等数 をおります。	# を連携した実験・実 等と連携した演習の授	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	東晋·実 力授業時数) 立数 実習·実 力単位数 (専修学 (専修学 (専修学	技の授業時数 支の授業時数 支の単位数 対設置基準第41条第1項第 対設置基準第41条第1項第	25) 25) 26)	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位 10 単位 10 単位 10 単位 0 単位 3 人 5 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等をの実施状かに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第3、例えば以下についてが 評価団体: w.anabuki-college.r w.anabuki-college.r な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 である算定) のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	# を連携した実験・実 等と連携した演習の授	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	東晋·実 力授業時数) 立数 実習·実 力単位数 (専修学 (専修学 (専修学	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数	25) 25) 26)	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 10 単位 3 単位 3 人 5 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実施状か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第3、例えば以下についてが 評価団体: w.anabuki-college.r. は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 1) 変更 できる	# を連携した実験・実 等と連携した演習の授	習・実技の授業 業時数 と必修の実験で た必修の実験で で で で で で で を を の を の で の 演習の 担 で の 変 で の 変 で の 変 で の 変 し の を の 変 し で の 変 し で の 変 し で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	東晋·実 力授業時数) 立数 実習·実 力単位数 (専修学 (専修学 (専修学	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数	25) 25) 26)	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 10 単位 10 単位 3 上 6 単位 3 人 5 人 0 人 0 人 2 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等をの実施状かに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第3 (例えば以下について (例えば以下について (別えば以下について (別えば以下について (別えば以下について (別えば以下について (別えば以下について (別えばい下について (別までいて) (別えばい下について) (別えばい下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ないで) (別	# を連携した実験・実活等と連携した実験・実活を記載	習・実技の授業 業時数 と必修の実験・では必修のの実験でのが、 とのをののでは、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと	実習・実計)授業時数)受業時数 立数 ・実習・実計 立数 ・実習・実計 (専修学 (専修学 (専修学 (専修学	表の授業時数 支の授業時数 支の単位数 - 校設置基準第41条第1項第 - 校設置基準第41条第1項第 - 校設置基準第41条第1項第 - 校設置基準第41条第1項第	ムベージUR L 11号) 2号) 3号) 4号)	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 10 単位 10 単位 3 上 6 単位 3 人 5 人 0 人 0 人 2 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等とと実施状かに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第3 (例えば以下について (例えば以下について (別えば以下について (別えば以下について (別えば以下について (別えば以下について (別えば以下について (別えばい下について (別までいて) (別えばい下について) (別えばい下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ない下について) (別ないで) (別	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	習・実技の授業 業時数 と必修の実験・では必修のの実験でのが、 とのをののでは、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 といるでも、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと	実習・実計)授業時数)受業時数 立数 ・実習・実計 立数 ・実習・実計 (専修学 (専修学 (専修学 (専修学	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数	ムベージUR L 11号) 2号) 3号) 4号)	320 単位時間 0 単位時間 2,400 単位時間 320 単位時間 180 単位時間 180 単位時間 126 単位 10 単位 10 単位 10 単位 3 上 6 単位 3 人 5 人 0 人 0 人 2 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

動物病院で働く動物看護師として必要な知識と技術を習得するためのカリキュラムを編成している。診療現場で役立つ的確な作業を身につけるため、実際に診療にあたっている獣医師、看護師から技術を学び、又自分で考え、迅速に的確な作業を行うための獣医療知識を獣医師、看護師から学べるカリキュラム編成を行っている。このようなカリキュラム編成、授業内

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体や企業等から意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
高重 宏一		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	1
篠原 公七	公益社団法人香川県獣医師会	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	1
荒岡 杉	荒岡動物病院	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	3
岩澤 正俊	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
戸倉 潤也	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
林 勇樹	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、2月予定)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年12月16日 14:00~15:00 第2回 令和7年2月26日 14:00~15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

動物病院での採用が飽和状態になり、今後の新規採用への影響が予想されるため、地方行政での採用を目指してのカリキュラム検討の必要性についてご意見をいただいた。カリキュラムの見直しを行い、採用枠の拡充を目指すこととする。 外部の競技会参加によって学ぶことが多々あり、学生の成長につながるのではないかとのご意見をいただいた。県外も含めて情報を集め、学生がスタッフとしてお手伝いするなど学部で学ぶ機会を創出し、物事に取り組む姿勢の変容を狙うこととする。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通じてより一層のスキルアップにつながるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生にとって効果的な授業となるよう、当校における授業科目の目的や内容を事前にしっかりと打ち合わせを行い、企業と学校が共通理解・共通努力をする。科目の全時間を企業が担当する場合は、シラバスを授業担当者がその期が始まる前に作成し、年度末に行われる各学科の担当者会議に持ち寄り意見交換し授業内容を決定する。また、担当授業部分に関しては、期末に成績評価を企業の授業担当者が行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
動物外科看護学実習 Ⅰ・Ⅱ		動物の行動様式を理解した上で、 家庭等における飼養環境の整備、 ペット共生住宅などについて学び 人とペットの共生のための生活の あり方を理解する。	久保動物病院、すざき動物病院
AAA実習 I・Ⅱ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	高松中央高校幼稚園 あなぶきメディカルケア ロイヤルケア高松
動物看護総合実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	動物介在活動の意義を理解し、よ りよい活動方法を考える。	動物病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に 必要な能力を及び資質等の向上を図るため、教員は学内および学外で研修に参加し、自らの見識・技能の幅を広げそれを 教育の現場で反映させていくこととする。学校は、教職員研修規定に従い、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用し た教職員に対して「新任者研修」、管理職教職員に関しては「管理者研修」、また各々指導分野における実務研修・見学研 修を計画的に実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

トリマー義務研修 連携企業等: JKC 研修名:

令和6年8月 対象: 教員 期間:

内容 ワイヤーフォックステリアの講習会

連携企業等: 全国動物専門学校協会 愛玩動物看護師養成研修 研修名:

対象:動物看護系教員 期間: 令和6年8月

動物内科看護学実習の指導について、動物生活環境学ペット関連産業界の 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

キャリアサポーター養成講座 研修名: 連携企業等:職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和6年8月 対象: 全教職員

字生が目分目身のキャリア(仕事人生)を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという埋怠を広く 内容

浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド(態度や姿勢・考え方)を学ぶ

研修名: LGBTQの基礎知識 連携企業等:穴吹教育総合研究所

令和6年8月 期間: 対象: 全教職員

内容 多様性の理解

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: JKC 研修名: トリマー義務研修

期間: 令和7年8月 対象: 教員

内容 シニア犬のトリミング技術講習

愛玩動物看護師養成研修 連携企業等:全国動物専門学校協会 研修名:

期間: 未定 対象: 動物看護系教員

内容 愛玩動物看護師養成に関連した内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: キャリアサポーター養成講座 連携企業等:職業教育・キャリア教育財団

期間: 対象: 全教職員 令和6年8月

字生が目分目身のキャリア(仕事人生)を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという埋念を広く 内容

浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド(態度や姿勢・考え方)を学ぶ

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換などを通じて、学校運営及び教育活動などの評価を積極的に行い、その結果に基づき改善を 図ることでより良い人材の育成に努める

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
││(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3)教育活動	教育理念に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災、安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効果的に実施されているか。納付金の取り扱いは
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法令順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献できているか、等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各評価項目の改善に取り組んでいる卒業生の就労状況の把握、離職の把握などの必要性に指摘があり、卒業生に対する現状把握に取り組んだ

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
森川 崇		31日(1年)	元高校関 係委員
喜多 泰三	県立農業経宮局寺字校校長	31日(1年)	高校関係 委員
蓮井 良太	はずい動物病院	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	業界委員
木村 昭代	一一一一一一	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	近隣移住 者委員
吉田 朋美	学生保護者	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	РТА

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: http://wwww.anabuki.ac.jp

公表時期: 令和7年12月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業などの関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めていただくため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報 公開のツールとしてホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	2 7 0 2 11 2 12 30 A C C C C C C C C C C C C C C C C C C
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学数、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況な、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、職業支援等への取り組み状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動の取り組み、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取り組み状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支決算書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

http://wwww.anabuki.ac.jp 令和7年12月1日 URL:

公表時期:

授業科目等の概要

	#RE	F!			授業科目等の概要 											
		分類	į			配	授		抒	業	方法	場	所	教	員	企
	必	選	自			当年	業	単	講	演	験・	校	校	専	兼	業等
		択必	由選	授業科目名	授業科目概要	次・	時	位			技実習					との
	修	修	択			学期	数	数	義	習	実	内	外	任	任	連携
1	0			コンピュータ実習 I	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン海習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う	1 後	30	1			0	0			0	
2	0			コンピュータ実習 Ⅱ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン次審を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、デラマ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う	2 前	30	1			0	0			0	
3	0			サービス接遇 講座 I	サービス接遇検定3級取得のための勉強を 適して、社会人として必要なマナー・接客 スキルを身につける。接容の基礎を学ぶこ とによって、動物看護師・ペットショップ スタッフとしての業務をストレスなく行え る力を身につける。お客様心理を理解する ことによって、他人へ配慮する気持ちを身 につける。	1 前	30	2	0			0		0		
4	0			サービス接遇 講座 Ⅱ	サービス接遇検定2級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける。接略・ペッピションによって、動物看護師・ペッピションとしての業務をストレスなく行える力を習得する。お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1 後	30	2	0			0		0		
5	0			サービス接遇 講座Ⅲ	サービス接遇検定準1級に合格する接客の基本スキルを身につける。接客の基本を学ぶことにより、ベット業界スタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。グループ練習を通して、多様性を理解し、協調性とコミュニケーション力を習得する。	2 前	20	1	0			0		0		
6	0			社会人基礎講 座 I	専門学校での学習の意味を理解し進路を決 定する際に必要な知識とスキルを身につけ る。	1後	30	2	0			0		0		
7	0			社会人基礎講 座 Ⅱ	専門学校での学習の意味を理解し、進路を 決定する際に必要な知識とスキルを身につ ける。就職活動に必要な知識・技術を学び 習得する。	2 前	30	2	0			0		0		
8	0			ペット美容学	犬の健康維持と手入れの基本を学び、顧客 の相談に対応できるようにする。	2 後	30	2	0			0			0	
9	0			犬種標準学 I	犬の種類と特徴を知ることで、犬との触れ 合い方や飼養方法を学ぶ。	1前	30	2	0			0		0		
10	0			犬種標準学Ⅱ	犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分 野で役に立つようにする。	1 後	30	2	0			0		0		
11	0			グルーミング 実習BASIC I	グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い 方と、美容道具の扱い方を学ぶ。	1 前	20	0			0	0		0		
12	0			グルーミング 実習BASICII	グルーミング作業(ブラッシング・ベイジ ング・ドライング・爪切り・耳そうじ・ク リッピング・足回り)をできるようにな る。	1 後	30	1			0	0		0		
13	0			トリミング実 習BASIC I	トリミング(犬のカット)に必要な犬の扱い 方と、美容道具の扱い方、様々なカット様 式を学ぶ。	2 前	30	1			0	0		0		
14	0			トリミング実 習BASICII	グルーミング作業の効率・スピードUPを目指す。部分カットに必要な、トリミングの基礎を身に付ける。	2 後	30	1			0	0		0		
15	0			トレーニング 実習 I	犬が人間社会で暮らしていくために必要な ルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得す る。	1 前	30	1			0	0			0	
16	0			トレーニング 実習 II	犬が人間社会で暮らしていくために必要な ルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得す る。	1 後	30	1			0	0			0	
17	0			トレーニング 実習Ⅲ	犬の集中力・正確さをやしなう。	2 前	30	1			0	0			0	
18	0			トレーニング 実習IV	犬の集中力・正確さをやしなう。	2 後	30	1			0	0			0	
19	0			トレーニング 実習 V	犬の集中力・正確さをやしなう (2年次に履 修した内容をさらにレベルアップする)	3 前	30	1			0	0			0	
20	0			生命倫理・動 物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。	1 前	30	2	0			0		0		

21	0	動物形態機能 学 I	動物の生命維持の仕組みと解剖学及び生理 学の基礎を知り、生命体としての動物を理 解する。	1 前	60	4	0		0		0	
22	0	動物形態機能 学Ⅱ	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能 学、生化学の面から学び、生命体としての 動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で 理解するとともに病的変化についても学ぶ 基盤を確立する。	1 後	60	4	0		0		0	
23	0	動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。	3 前	30	2	0		0	0		
24	0	動物行動学	大や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	1 前	30	2	0		0		0	
25	0	動物栄養学 I	動物のライフステージ別の栄養管理や疾患 による栄養要求の違いを学び管理方法を理 解する。	2 前	30	2	0		0	0		
26	0	動物栄養学Ⅱ	動物のライフステージ別の栄養管理や疾患 による栄養要求の違いを学び管理方法を理 解する。	2 後	30	2	0		0	0		
27	0	比較動物学 I	産業動物及び実験動物の歴史や品種、飼育 管理方法及び関わり、さらに日本の野生動 物の種類と保全、動物園等の展示動物につ いて学ぶ。	3 前	30	2	0		0		0	
28	0	比較動物学Ⅱ	産業動物及び実験動物の歴史や品種、飼育 管理方法及び関わり、さらに日本の野生動 物の種類と保全、動物園等の展示動物につ いて学ぶ。	3 後	30	2	0		0		0	
29	0	動物看護関連法規	動物看護に関連する基本的な法規について 学び、社会における愛玩動物看護師の役割 を理解する。	1 前	15	1	0		0	0		
30	0	動物愛護・適 正飼養関連法 規	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な 法規について学び、人と動物の共生のあり 方等を理解する。	1 前	15	1	0		0	0		
31	0	動物看護学概論	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、社会における動物看護の役割を 理解する。	1 前	30	2	0		0	0		
32	0	動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を 学び、病態について理解する。	2 後	30	2	0		0	0		
33	0	動物薬理学 I	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床 応用及び副作用について学び、診断や治療 にどのように用いたれるかを理解する。	3 前	30	2	0		0	0		
34	0	動物薬理学Ⅱ	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床 応用及び副作用について学び、診断や治療 にどのように用いたれるかを理解する。	3 後	30	2	0		0	0		
35	0	動物感染症学 I	微生物や寄生虫の分類、伝播様式や発病の メカニズム等を学び、検査や診断、予防・ 治療法など感染症の基礎を習得する。	1 前	30	2	0		0		0	
36	0	動物感染症学Ⅱ	伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染する後生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。	1 後	30	2	0		0		0	
37	0	動物感染症学 Ⅲ	伴侶動物であるイヌやネコをはじめ、動物の感染症を理解することは、獣医療に関わるものとして大変重要である。主にイヌやネコに感染る微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習し、予防と看護に活かす。	2 前	30	2	0		0		0	
38	0	公衆衛生学Ⅰ	環境及び食品衛生、疫学、人駅共通感染症 について学び、人の健康の維持・増進や疾 病予防への応用について理解する。	2 後	30	2	0		0	0		
39	0	公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重まな分野である。また、関連するさまたな環境要因とヒトの健康である疾病予防・中間発見・健康維持および増進に促か立ても総合的な学科目では、大量、環境衛生があり、滅菌を消失。 最高断生があり、減極が高い、大量を発生があり、減極が高い、大量を対象とする科目では、大量の場合があり、減極が高い、大量を対象とする科目では、大量の場合がある。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 前	30	2	0		0	0		
40	0	動物内科看護学Ⅰ	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、 身体検査、採血、投棄、輸液、輸血、画像 診断に必要な検査、所見の記録等について 理解する。	2 後	30	2	0		0	0		
41	0	動物内科看護 学 II	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、 身体核査、採血、投薬、輸液、輸血、画像 診断に必要な検査、所見の記録等について 理解する。	3 前	30	2	0		0	0		
42	0	動物内科看護学皿	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、 身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像 診断に必要な検査、所見の記録等について 理解する。	3 後	30	2	0		0	0		

43	0		動物外科看護 学 I	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻 酔監視、手術の補助、救急救命など、動物 外科看護学で学んだ知識の実践力を修得す る。	2 前	30	2	0		0		0	
44	0		動物外科看護 学 II	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻 酔監視、手術の補助、救急救命など、動物 外科看護学で学んだ知識の実践力を修得す る。	2 後	30	2	0		0		0	
45	0		動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事 例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の 基本的な考え方を修得する。	1 後	30	2	0		0	0		
46	0		動物臨床看護 学各論 I	様々な疾患の病態生理を理解し、それに よって引き起こされる症状や必要な処置、 治療に関しる基本的な知識を学ぶ。	2 前	30	2	0		0	0		
47	0		動物臨床看護 学各論 II	様々な疾患の病態生理を理解し、それに よって引き起こされる症状や必要な処置、 治療に関しる基本的な知識を学ぶ。	2 後	30	2	0		0	0		
48	0		動物臨床看護 学各論Ⅲ	様々な疾患の病態生理を理解し、それに よって引き起こされる症状や必要な処置、 治療に関しる基本的な知識を学ぶ。	3 前	30	2	0		0	0		
49	0		動物臨床看護 学各論IV	様々な疾患の病態生理を理解し、それに よって引き起こされる症状や必要な処置、 治療に関しる基本的な知識を学ぶ。	3 後	30	2	0		0	0		
50	0		動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、 所見の記録方法を修得する。	2 前	30	2	0		0		0	
51	0		動物医療コミュニケーション	日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、動物病院スタッフ間のコミュニケーション方法を学ぶ。3後	3 後	30	2	0		0	0		
52	0		愛玩動物学 I	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や 役割、適切な飼育管理方法について理解する。	1 前	30	2	0		0	0		
53	0		愛玩動物学 Ⅱ	要玩動物看護師は棒々な動物の看護に携わる可能性があり、また、その飼い主へ飼養管理指導をする場面も想定される。エキゾテックアニマルの歴史と品種、身体的特徴、適切な飼育方法、代表的な病気について理解する。	1 後	30	2	0		0	0		
54	0		人と動物の関 係学	動物が人間社会で果たしている役割やその 背景・歴史について学び、人と動物の関係 を心理学的及び社会学的側面から、その実 態、課題等を含めて理解する。	2 後	30	2	0		0	0		
55	0		適正飼養指導 論 I	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上 で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管 理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みに ついて理解する。	3前	30	2	0		0	0		
56	0		適正飼養指導 論 II	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上 で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管 理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みに ついて理解する。	3 後	30	2	0		0	0		
57	0		動物生活環境学	動物の行動様式を理解した上で、家庭等に おける飼養環境の整備、ベット共生住宅な どについて学び人とベットの共生のための 生活のあり方を理解する。	3 前	30	2	0		0	0		
58	0		ペット関連産業概論	ベット飼養ニーズや形態、ベット関連産業 を構成する業種の概要、動物取扱責任者と しての実践的知識や手法を学ぶ。	3 後	30	2	0		0	0		
59	0		動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器検型、主要臓器の組織像などを通して学ぶ。	1 前	30	1		0	0	0		
60	0		動物内科看護 学実習 I	内科診療に必要な手技など、動物内科看護 学で学んだ知識の実践力と修得する。	1 前	30	1		0	0	0		
61	0		動物内科看護 学実習 II	議義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身に着ける。また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。	1 後	30	1		0	0	0		

62	0	動物内科看護 学実習皿	議義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な親察力及び看種法に関する基本的 手技を身に着ける。また手順や要領を考慮 した行動から問題解決能力や看護実践能力 を身につける。動物の基礎情報を収集し、 診療補動からはじまるトータルケアの看護 技術を学ぶ。	2 前	30	1		0	0		0		
63	0	動物内科看護 学実習IV	「動物看護実習 I・II・II での実践能るトー検 が開力を用いて診療補助からはじまの身体・ がリケルケアの看護技術を学ぶ。全身身体・ をを実施し、バイタルサインの評にならに は、ボイタルサインの評にならにない。 は、北医師かの報告が行えるようになられる。 を身につけ、でしています。 であるが、であるが、である。 また、かつスムールができるだな診るよう、生作は なく、かつスムールができるだな診るよう、生活は である。 また、手術関連と術後業務・回解と、 は、一般器の準備との準備との準備との準備との は、の状態をよう、生産を は、の状態を は、の状態を が、である。 でなる。 である。 である。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	2 後	30	1		0	0		0		
64	0	動物臨床看護 学実習 I	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨 床看護学で学んだ知識の実践力を修得す る。	3前	30	1		0	0		0		
65	0	動物臨床看護 学実習 II	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨 床看護学で学んだ知識の実践力を修得す る。	3後	30	1		0	0		0		
66	0	動物臨床検査 学実習 I	検体検査及び生体検査に必要な手技や機器 の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知 識の実践力を修得する。	2 前	30	1		0	0			0	
67	0	動物臨床検査 学実習 II	検体検査及び生体検査に必要な手技や機器 の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知 識の実践力を修得する。	2 後	30	1		0	0			0	
68	0	動物外科看護 学実習 I	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。		30	1		0	0		0	0	0
69	0	動物外科看護 学実習 Ⅱ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。		30	1		0	0		0	0	0
70	0	動物外科看護 学実習 피	周術期の術前、術中、術後において動物物類にの受到である外科手質を補助する護師の役割である外科手筒を補助する護力が的が安全に麻酔(手術)を遂行する希見のはは、術前の準備として看護動型解する所的評価とが重要である。また日ごろからの手術といる手術助手として必要となる。機材の管理が必要となる、職と技術を習得する。	3 前	30	1		0	0		0	0	
71	0	動物愛護・適 正飼養実習 I	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱い や飼い主とのコミュニケーションなど、愛 護・適正使用額に関連した科目で学んだ知 識の実践力を習得する。	1 前	30	1		0	0		0		
72	0	動物愛護・適 正飼養実習 Ⅱ	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱い や飼い主とのコミュニケーションなど、愛 護・適正使用額に関連した科目で学んだ知 識の実践力を習得する。	1	30	1		0	0		0		
73	0	AAA実習 I	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活 動方法を考える。	3 前	20	0		0		0	0		0
74	0	AAA実習Ⅱ	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活 動方法を考える。	3 後	30	1		0		0	0		0
75	0	動物看護総合 実習 I	一定期間企業などの中で研修生として働き、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	1 後	60	2		0		0		0	0
76	0	動物看護総合 実習 II	一定期間企業などの中で研修生として働き、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	2 後	30	1		0		0		0	0
77	0	動物看護総合 実習Ⅲ	一定期間企業などの中で研修生として働き、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	前	90	3		0		0	N/	0	0
L_		合計	77	Ť	相			126	里	位(単位	/時間	=])

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ě
卒業要件: 期末試験・実技評価・出席率等で評価	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必須科目のすべてを決められた期間で履修すること。	1 学期の授業期間	15 週

- | 図修方法:必須科目のすべてを決められた期間で履修すること。 | 1 字期の授業期间 | (留意事項) | 1 字期の授業利目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。 | 企業等との連携について〇を付すこと。 | 2 企業等との連携について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名				交長名					
専門学校穴吹動物	看護カレッ	平成18年3月	23日 岩	澤正俊	〒 (住所)	761-8056 香川県高松市上天神	BT721-1		
ジ 設置者名		設立認可年		表者名		087-826-2222	所在地		
学校法人穴吹		平成3年4月		吹 忠嗣	T (#:55)	760-0020 禾川県京松本線町1-0			
					(電話)	香川県高松市錦町1-2 087-823-5700			-00=010==++-
<u>分野</u> 文化・教養		認定課程名・教養専門課程	認定学和動物看護総			門士認定年度	高度専門士認定年		阿課程認定年度 6(2014)年度
人儿 教授	X IL	· 狄茂寺门林往	到70年成	D T 14	T 18	222(2010)平及		T 13,2	0(2014)千及
学科の目的	ペット分野	で即活躍できるトリマ	一を育てることを目的	とする					
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	取得可能な	な資格:JKCトリマーC	級ライセンス、サロント	リマー検定 等					
修業年限	昼夜		要な総授業時数又は総 位数 -	講	義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	78 単位		単位時間	0 単位時間	1,050 単位時間 35 単位	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員	生徒実	€員(A) 留学生	E数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率	•		
60 人	82		0 人	0	%	20 %			
	■卒業者 ■就職希		: 24 : 23		人人	- 			
	■就職者	数 (E)	: 23		人	-			
	■地元就	職者数(F) (E/D)	18 100		人				
		に占める地元就職者				-			
	■卒業者(こ占める就職者の割	合 (E/C)		%	-			
	■進学者		96 0		从	-			
就職等の状況	■延子旬		0		^	-			
	(令和		者に関する令和7年5	月1日時点の情	報)				
	■王な駅」 (令和6年度	職先、業界等							
	1								
	劉彻炳阮	、ペットショップ等							
			tv === /==			ATT.			
第二老による	■民間の	: ハットンョッノ 寺 評価機関等から第: 、例えば以下について・				無			
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について		of the health			結果を掲載した		
	■民間の ※有の場合	評価機関等から第		受審年月:		評価:	結果を掲載した ムページURL		
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について・ 評価団体:	壬意記載	受審年月:		評価:			
学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について	壬意記載	受審年月:		評価:			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について・ 評価団体:	壬意記載	受審年月:		評価:			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.	壬意記載	受審年月:		評価:		1,700 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数	壬意記載		業時数	評価:		1,700 単位時間 60 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業	H意記載	習・実技の授	業時数	評価:			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.t 故時間による算定) 総授業時数 うち企業	H意記載 net/ 等と連携した実験・3	習・実技の授	業時数	評価:		60 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.t 故時間による算定) 総授業時数 うち企業	H 意記載 Het/ 等と連携した実験・3 等と連携した演習の担	R習・実技の授 業時数		評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: w.anabuki-college.t 故時間による算定) 総授業時数 うち企業	H意記載 het/ 等と連携した実験・3 等と連携した演習の担 授業時数	ででである。 選・実技の授 2業時数 た必修の実験	・実習・実持	評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 ・例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.u な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	### ### ### ### ### #################	電・実技の授 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実持	評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した。	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第 ・例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.u な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	### ### ### #########################	電・実技の授 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実持	評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 ・例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.u な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	### ### ### #########################	電・実技の授 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実持	評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へんの表の実施がれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 ・例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企	### ### ### #########################	電・実技の授 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実持	評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 78 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況へんの表の実施がれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 ・例えば以下について 評価団体: www.anabuki-college.ta な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) 総単位数	### ### ### #########################	で習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実 D授業時数 受業時数)	評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 : 例えば以下について : 例えば以下について : : 例えば以下について : :	無意記載 神性/ 等と連携した実験・3 等と連携した実験・3 長業等と連携した演習の担 うち企業等と連携し ま等と連携したインタ	で習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの打	・実習・実 D授業時数 受業時数)	評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 78 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 : 例えば以下について : 例えば以下について : : 例えば以下について : :	新生産記載 「等と連携した実験・9 等と連携した実験・9 「うち企業等と連携し すっち企業等と連携したインク なと連携したインク なと連携した実験・9 等と連携した実験・9 等と連携した演習の単	で習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの打	・実習・実 D授業時数 受業時数)	評価 ホー		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 78 単位 2 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 : 例えば以下について : 例えば以下について : : 例えば以下について : :	新生産記載 「等と連携した実験・9 等と連携した実験・9 「うち企業等と連携し すっち企業等と連携したインク なと連携したインク なと連携した実験・9 等と連携した実験・9 等と連携した演習の単	で習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの打 ででである。 一次の対象を でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 力授業時数) 受業時数) 立数	まの授業時数		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 78 単位 2 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 : 例えば以下について : 例えば以下について : : 例えば以下について : :	田主が記載 「等と連携した実験・事等と連携した演習の見程業等と連携した演習の見ます。 「おんまでは、またのでは、	空習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの対 とで、実技の単位数 た必修の実験	・実習・実)授業時数) 受業時数) 立数	まの授業時数		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位時間 78 単位 2 単位 78 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 : 例えば以下について : 例えば以下について : : 例えば以下について : :	等と連携した実験・9 等と連携した実験・9 等と連携した演習のが 授業等数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したイング 等と連携した実験・9 等と連携した演習の単位数 うち企業等と連携し	を習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの対 位数 た必修の実験 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実 力授業時数) 受業時数) 立数 ・実習・実 力単位数	まの授業時数		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位時間 78 単位 2 単位 78 単位 2 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 : 例えば以下について : 例えば以下について : : 例えば以下について : :	無意記載 等と連携した実験・男等と連携した演習の批授業等を連携した演習の批技業等と連携したイング等と連携したイング等と連携した演習の単単位数 「うち企業等と連携した演習の単単位数 「うち企業等と連携した対望の単位数	を習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの対 位数 た必修の実験 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実 力授業時数) 受業時数) 立数 ・実習・実 力単位数	まの授業時数		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位時間 78 単位 2 単位 78 単位 78 単位 2 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 : 例えば以下について : 例えば以下について : : 例えば以下について : :	無意記載 等と連携した実験・男等と連携した演習の批授業等を連携した演習の批技業等と連携したイング等と連携したイング等と連携した演習の単単位数 「うち企業等と連携した演習の単単位数 「うち企業等と連携した対望の単位数	を習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの対 位数 た必修の実験 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実 力授業時数) 受業時数) 立数 ・実習・実 力単位数	まの授業時数		60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位時間 78 単位 2 単位 78 単位 78 単位 2 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第で、例えば以下について、 評価団体: www.anabuki-college.le 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 対数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企業 で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	# を連携した実験・3 等と連携した実験・3 等と連携した演習の担 授業時数 うち企業等と連携したインタ ・	智・実技の授: 業時数 た必修の実験 た必修の実験 た必修の演習の 一ンシップの 位数 た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の	・実習・実 力授業時数) 受業時数) 立数 ・実習・実 力単位数 単位数)	技の授業時数	A~->URL	60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第で、例えば以下について、 評価団体: w.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 2数による算定) (うち企 2数による算定) (うち企 での教育を学する吸と (うち企 での教育当 での教育当 ないまる。	等と連携した実験・3 等と連携した演習の批 授業時数 「うち企業等と連携し うち企業等と連携したイング 等と連携した次習の単 単位数 「うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 D授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実 D単位数 単位数)	まの授業時数	A~->URL	60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位時間 78 単位 2 単位 78 単位 78 単位 2 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第で	等と連携した実験・9 等と連携した実験・9 等と連携した演習の担 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ 等と連携した方演習の単 単位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し にで数	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 D授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実 D単位数 単位数)	技の授業時数	A~->URL	60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況へんのです。	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第で、例えば以下について、 評価団体: w.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 2数による算定) (うち企 2数による算定) (うち企 での教育を学する吸と (うち企 での教育当 での教育当 ないまる。	# と連携した実験・3 等と連携した実験・3 特と連携した実験・3 方を業等と連携した方演習の担 表等と連携したインタ ラち企業等と連携したインタ 等と連携した実験・5 等と連携した演習の単単位数 「あ企業等と連携したする。」 またの また は	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	· 実習・実 D授業時数) 立数 · 実習・実 D単位数 (専修学	技の授業時数	515)	60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した発習等の実施状況か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について、評価団体: w.anabuki-college.i bb時間による算定) 総授業時数 うち企企業 うちを必修 (うち企 な数による数 うちを企業 (うちを企業 「うちを企業 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	# と連携した実験・3 等と連携した実験・3 等と連携した演習の担 授業時数 うち企業等と連携したインタ うち企業等と連携したインタ 等と連携したインタ 等と連携した大演習の単単位数 うち企業等と連携したインタ まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 D授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実 D単位数 (専修学	京の 表の授業時数 表の単位数	ムページUR L 51号)	60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 3 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施状か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について、 評価団体: www.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うちを企業 (うちを な数による第定) (うちを な数による第一等 である第一等 でもののである。 でもののでは、まる。 「もののでは、まる。) 「もののでは、まる。) 「もののでは、まる。) 「もののでは、まる。」 「ものでは、まる。」 「ものでは、まる。。」 「ものでは、まる。。」 「ものでは、まる。。」 「ものでは、まる。。」 「ものでは、まる。。」 「ものでは、まる。。」 「ものでは、まる。。」 「ものでは、まる。。」 「ものでは、まる。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実活 ・実習・実 か受業時数) 立数 ・実習・実 の単位数 の事修学 (専修学 (専修学	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数 対設置基準第41条第1項第 対設置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号)	60 単位時間 0 単位時間 1.700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 78 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 58 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等のいた況かに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について、 評価団体: www.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うちを企業 (うちを な数による算定) なる なる なる なる なる ないのでは、ないの	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実活 ウラ ・実習・実活 ウラ ・実習・実活 ウ単位数 ・実習・実活 ・実習・実活 ・実質・等等 ・実質・等等	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数 対験置基準第41条第1項第 対数置基準第41条第1項第 対数置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号) 54号)	60 単位時間 0 単位時間 1.700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 58 単位 0 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施状か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について、評価団体: www.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うちを全 (うちを な数) (うちを な数) (うちを全 (うちを全 な数) (うちを全 (うちを全 な数) (うちを全 (うちを全 な数) (うちを全 ()を会 ()を会 ()を会 ()を会 ()を会 ()を会 ()を会 ()を会	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実活 ウラ ・実習・実活 ウラ ・実習・実活 ウ単位数 ・実習・実活 ・実習・実活 ・実質・等等 ・実質・等等	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数 対設置基準第41条第1項第 対設置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号) 54号)	60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 5 単位 0 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施状か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について、 評価団体: www.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うちを企業 (うちを な数による算定) なる なる なる なる なる ないのでは、ないの	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実活 ウラ ・実習・実活 ウラ ・実習・実活 ウ単位数 ・実習・実活 ・実習・実活 ・実質・等等 ・実質・等等	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数 対験置基準第41条第1項第 対数置基準第41条第1項第 対数置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号) 54号)	60 単位時間 0 単位時間 1.700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 58 単位 0 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等をの実施がれかに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について、評価団体: www.anabuki-college.t な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うちを全 (うちを な数) (うちを な数) (うちを全 (うちを全 な数) (うちを全 (うちを全 な数) (うちを全 (うちを全 な数) (うちを全 ()を対 ()を対 ()を対 ()を対 ()を対 ()を対 ()を対 ()を対	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	で習・実技の授い 主の修の実験 た必修の実験 た必修の演習の たのをの演習の でである。 では、 では、 たのをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実活 ウラ ・実習・実活 ウラ ・実習・実活 ウ単位数 ・実習・実活 ・実習・実活 ・実質・等等 ・実質・等等	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数 対験置基準第41条第1項第 対数置基準第41条第1項第 対数置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号) 54号)	60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 5 単位 0 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施状か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	評価機関等から第で ・ 例えば以下について、 ・ で が で が ら 第で が が ら 第で が が ら 第定 が が が ら 第定 が が が ら まる 第定 が が が が ら まる 第定 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	で習・実技の授: 業時数 た必修の実験 た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の た必修の演習の を必修のの演習の た必修のの演習の た必修のの演習の た必修のである。 た必修のである。 た必修のである。 たのでは、 にして、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	· 実習・実者 D授業時数) 立数 · 実習・実 D単位数) (専修学 (専修学 (専修学	支の授業時数 支の授業時数 支の単位数 対験置基準第41条第1項第 対数置基準第41条第1項第 対数置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号) 54号)	60 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 60 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 78 単位 2 単位 0 単位 5 単位 0 単位 0 単位 0 単位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

動物病院で働く動物看護師として必要な知識と技術を習得するためのカリキュラムを編成している。診療現場で役立つ的確な作業を身につけるため、実際に診療にあたっている獣医師、看護師から技術を学び、又自分で考え、迅速に的確な作業を行うための獣医療知識を獣医師、看護師から学べるカリキュラム編成を行っている。このようなカリキュラム編成、授業内容について編成委員から広く意見をいただき、必要とされる動物看護師を養成するためのプログラムを改善構築している。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体や企業等から意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
高重 宏一		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	1
篠原 公七	公益社団法人香川県獣医師会	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	1
鈴木 ひとみ		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	3
岩澤 正俊		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
戸倉 潤也	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
林 勇樹	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、2月予定)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年12月16日 14:00~15:00 第2回 令和7年2月26日 14:00~15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

動物病院での採用が飽和状態になり、今後の新規採用への影響が予想されるため、地方行政での採用を目指してのカリキュラム検討の必要性についてご意見をいただいた。カリキュラムの見直しを行い、採用枠の拡充を目指すこととする。 外部の競技会参加によって学ぶことが多々あり、学生の成長につながるのではないかとのご意見をいただいた。県外も含めて情報を集め、学生がスタッフとしてお手伝いするなど学部で学ぶ機会を創出し、物事に取り組む姿勢の変容を狙うこととする。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通じてより一層のスキルアップにつながるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生にとって効果的な授業となるよう、当校における授業科目の目的や内容を事前にしっかりと打ち合わせを行い、企業と学校が共通理解・共通努力をする。科目の全時間を企業が担当する場合は、シラバスを授業担当者がその期が始まる前に作成し、年度末に行われる各学科の担当者会議に持ち寄り意見交換し授業内容を決定する。また、担当授業部分に関しては、期末に成績評価を企業の授業担当者が行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
トレーニング実習 I・ II	の講師が全ての授業	犬が人間社会で暮らしていくため に必要なルールやマナーを学ぶ。 訓練基礎を習得する。	株式会社ドッグアドベンチャー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な能力を及び資質等の向上を図るため、教員は学内および学外で研修に参加し、自らの見識・技能の幅を広げそれを教育の現場で反映させていくこととする。学校は、教職員研修規定に従い、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用した教職員に対して「新任者研修」、管理職教職員に関しては「管理者研修」、また各々指導分野における実務研修・見学研修を計画的に実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: トリマー義務研修 連携企業等: JKC

期間: 令和6年8月 対象: 教員

内容 ワイヤーフォックステリアの講習会

研修名: 愛玩動物看護師養成研修 連携企業等: 全国動物専門学校協会

期間: 令和6年8月 対象: 動物看護系教員

内容動物内科看護学実習の指導について、動物生活環境学ペット関連産業界の

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: キャリアサポーター養成講座 連携企業等: 職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和6年8月 対象:全教職員

浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド(態度や姿勢・考え方)を学ぶ

研修名: LGBTQの基礎知識 連携企業等: 穴吹教育総合研究所

期間: 令和6年8月 対象:全教職員

内容 多様性の理解

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: トリマー義務研修 連携企業等: JKC

期間: 令和7年8月 対象: 教員

内容シニア犬のトリミング技術講習

研修名: 愛玩動物看護師養成研修 連携企業等:全国動物専門学校協会

期間: 未定 対象:動物看護系教員

内容 愛玩動物看護師養成に関連した内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: キャリアサポーター養成講座 連携企業等: 職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和6年8月 対象:全教職員

学生が自分自身のキャリア(仕事人生)を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く 内容 はままは、お贈号として見た仕ばる。まずよりに対策策や姿勢、表示された党が

浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド(態度や姿勢・考え方)を学ぶ

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換などを通じて、学校運営及び教育活動などの評価を積極的に行い、その結果に基づき改善を 図ることでより良い人材の育成に努める

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

	XI C V / I W
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3)教育活動	教育理念に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災、安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効果的に実施されているか。納付金の取り扱いは
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法令順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献できているか、等
(11)国際交流	
NIC (1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各評価項目の改善に取り組んでいる卒業生の就労状況の把握、離職の把握などの必要性に指摘があり、卒業生に対する現状把握に取り組んだ

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
森川 崇		31日(1年)	元高校関 係委員
喜多 泰三	県立農業経宮局寺字校校長	31日(1年)	高校関係 委員
蓮井 良太	はずい動物病院	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	業界委員
木村 昭代	一一一一一一	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	近隣移住 者委員
吉田 朋美	学生保護者	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	РТА

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: http://wwww.anabuki.ac.jp

公表時期: 令和7年12月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業などの関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めていただくため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報 公開のツールとしてホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学数、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況な、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、職業支援等への取り組み状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動の取り組み、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取り組み状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支決算書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

http://wwww.anabuki.ac.jp 令和7年12月1日 URL:

公表時期:

授業科目等の概要

	#RE		5		技業科日寺の概要				+2	2#-	方法	場	ᇎ	*	8	
		分類				配当	授	単			実験			教		企業
	必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	年次	業	位	講	演	技実	校	校	専	兼	等と
	修	必修	選択			学期	時数	数	義	習	習	内	外	任	任	の連携
					情報化社会の現在、必須の能力とされてい	州	300				実					捞
1	0			コンピュータ実習 I	るパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う	1 後	30	1			0	0			0	
2	0			コンピュータ実習Ⅱ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコンスシッ選を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データペース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う	2 前	30	1			0	0			0	
3	0			サービス接遇 講座 I	サービス接遇検定3級取得のための勉強を 通して、社会人として必要なマナー・接客 ストルを身につける。接客の基礎を学ぶことによって、ベットショフスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得っ 。お客さま心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1 前	60	4	0			0		0		
4	0			サービス接遇 講座 II	サービス接遇検定2級取得のための勉強を通 して、社会人としての必要なマナー・接客 スキルを身につける。接客の基礎を学ぶこ とによって、ベットショップスタッフとし ての業務をストレスなく行える力を習得す る。お客様心理を理解することによって、 他人へ配慮する気持ちを身につける。	1 後	60	4	0			0		0		
5	0			サービス接遇 講座皿	サービス接遇検定準1級に合格する接客の基本スキルを身につける。接客の基本を学ぶことにより、ベット業界スタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。グループ練習を通して、多様性を理解し、協調性とコミュニケーション力を習得する。	2 前	20	1	0			0		0		
6	0			社会人基礎講 座 I	専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。	1 後	30	2	0			0		0		
7	0			社会人基礎講 座 Ⅱ	専門学校での学習の意味を理解し、進路を 決定する際に必要な知識とスキルを身につ ける。就職活動に必要な知識・技術を学び 習得する。	2 前	30	2	0			0		0		
8	0			犬種標準学Ⅰ	大の外観や行動をよく理解しお客さまに あった犬種を提供できるようになること。 ベットプームになり大を飼育する人が増え できたが捨てられる純大種の割合が多く なってきた。大の提供する側の短聴不足だ と思われる、大の提大する側の短聴を以て ミスマッチを防ぎ大と人とがよりよい関係 を集く手助けができる人はになるためによ く理解できるように説明する。	1 前	30	2	0			0			0	
9	0			犬種標準学Ⅱ	大種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする。	1後	30	2	0			0			0	
10	0			動物看護学Ⅰ	動物を取り扱う仕事に就く上で必要となる 教命教急や消毒、健康管理法などの動物看 護についての知識を座学、実習を通して学 ぶ。	1 前	30	2	0			0		0		
11	0			動物看護学Ⅱ	イヌ・ネコに携わる業務に就くにあたり、 必要とされる動物のケアに関する知識・技 術について学ぶ。	2 後	30	2	0			0		0		
12	0			繁殖飼育学	犬の繁殖に関して、繁殖適期や禁忌となる ブリーディングなどについて学ぶ。	2 後	30	2	0			0			0	
13	0			動物飼養管理 学 I	動物関係法令や動物愛護運動史、適正な飼養・健康管理、各種動物の飼養管理、犬の繁殖学等の知識を体系的に修得・普及する 指導員を養成する。	1 後	30	2	0			0		0		
14	0			動物飼養管理 学 II	動物飼養の理解と検定取得 動物に関する法律・動物の習性・疾病・適 切な飼養管理について学び、愛玩動物と人 の共存を考える。愛式動物飼養管理士2級 合格レベルの知識を身に付ける。	2 前	60	4	0			0		0		
15	0			動物飼養管理 学Ⅲ	動物飼養の理解と検定取得 動物に関する法律・動物の習性・適切な飼 養について学び、愛玩動物と人との共存を 考える。愛玩動物飼養管理士2級合格レベ ルの知識を身につける。	2 後	30	2	0			0		0		
16	0			動物行動学 I	動物、おもに犬についての生態、行動を学び理解する。動物と人間がいかに共存できるか学習する。	1 前	30	2	0			0			0	
17	0			トレーニング 実習 I	犬が人間社会で暮らしていくために必要な ルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得す る。	1 前	30	1			0	0			0	0
18	0			トレーニング 実習 II	犬が人間社会で暮らしていくために必要な ルールやマナーを学ぶ。基礎訓練(脚側行 進・伏臥・停座・据座・立止・招呼)を習 得する。	1 後	30	1			0	0			0	0
19	0			グルーミング 総論	グルーミングに関する基礎知識をまなび、 実習につなげる。	1 前	30	2	0			0			0	
20	0			グルーミング 各論	各犬種のグルーミング知識をまなび、実習につなげる。サロントリマー3級検定の学科試験対策。	1 後	30	2	0			0			0	

21	0		トリミング総 論	トリミングに必要な知識を身につけ、技術 の向上につなげる。	2 前	30	2	0		0			0	
22	0		トリミング各 論	JKC C級検定合格に必要なトリミングの知識を身につける。検定の学科試験対策。	2 後	30	2	0		0			0	
23	0			グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方を学ぶ。	1 前	180	6		0	0		0		
24	0		グルーミング 応用実習	グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方を学ぶ。	1 後	180	6		0	0		0		
25	0		トリミング実 習	トリミング(犬のカット)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方、様々なカット様式を学ぶ。	2 前	240	8		0	0		0		
26	0		プロフェッ ショナルトリ ミング	トリマーに必要な高度なトリミング技術を 学ぶ。	2 後	270	9		0	0		0		
27	0		ハンドリング 学 I	ショーハンドリングを習得することにより、犬の心理状況や扱いを学ぶ。	1 後	30	1		0	0			0	
28	0		ハンドリング 学 II	試験と同じ科目を練習する。人の練習でも あるが犬に科目を教えることが目的であ る。	2 前	30	1		0	0			0	
29	0			犬種ごとの骨格構成や性質を学ぶ。	2 前	30	2	0		0			0	
		合	<u>#</u>	29	手	相			78	単	立(単位	時間	1)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 期末試験・実技評価・出席率等で評価	1 学年の学期区分	2 期
履修方法 : 必須科目のすべてを決められた期間で履修すること。	1 学期の授業期間	15 週

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

[「]風修方法: 必須科目のすべてを決められた期間で複修すること。 「子期の授業期間 (留意事項) 「一の授業利目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	7 1 1 72	泛長名					
専門学校穴吹動物	看護カレッ	平成18年3月	23日 岩	澤正俊	〒 (住所)	761-8056 香川県高松市上天神田	BT721-1		
ジ 設置者名		設立認可年		表者名	(電話)	087-826-2222	所在地		
学校法人穴吹		平成3年4月		文 忠嗣	T (#:55)	760-0020 系川県京松本線町1-2			
					(電話)	香川県高松市錦町1-2 087-823-5700		- d- TAN AUG d- 18	+ 00 = 0
		認定課程名 ・ 教養専門課程	認定学科 動物健康管理	名 理学科		門士認定年度	高度専門士認定年		專門課程認定年度 26(2014)年度
X10 1/2 R		文化・教養専門課程 コカツには 日本サイヤ 平成22(2010)年度 しつけインストラクター専攻						1 //	- CO(2011)-12
学科の目的	ペット分野	で即活躍できるドッグ	トレーナーを育てること	を目的とする					
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	取得可能和	な資格:JKCハンドラー	-C級 等						
修業年限	昼夜		要な総授業時数又は総 位数	講	義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	1,700 単位時間 80 単位		単位時間単位	0 単位時間	990 単位時間 33 単位	0 単位時間	0 単位時間
生徒総定員	生徒到	定員(A) 留学生	数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率		'	
60 人	82	Д	0 人	0	%	20 %			
	■卒業者 ■計職系		24		<u> </u>	-			
	■就職者		23		人	_			
		職者数(F)	18		人	_			
		に占める地元就職者	100_ の割合 (F/E)		%				
			78		%	_			
	■卒業者	に占める就職者の割れ	È (E/C) 96		%				
就職等の状況	■進学者		0		Ĭ.	_			
2012 1 0 0000	■その他								
					tan S				
	(令和		者に関する令和 7年5月	1日時点の情	報)				
		職先、業界等							
	(令和6年度	『辛来生』 ペットショップ等							
	訓練別、	ヘルトショック寺							
	■民間の	評価機関等から第3				無			
第三者による	■民間の								
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3		受審年月:		評価	結果を掲載した ムページURL		
学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下について(受審年月:		評価			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下について(£意記載	受審年月:		評価			
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第3、例えば以下についても 評価団体:	£意記載	受審年月:		評価			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下についても 評価団体:	£意記載	受審年月:		評価			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 、例えば以下について£ 評価団体: vw.anabuki-college.n	£意記載	受審年月:		評価		1,700 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 ・、例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数	£意記載		業時数	評価		1,700 単位時間 510 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た、例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業	E意記載 et/	習・実技の授詞	業時数	評価			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た、例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業	E意記載 et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授	習・実技の授詞	業時数	評価		510 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た、例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	E意記載 et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数	習・実技の授 3 業時数		評価		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た、例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し	習・実技の授! 業時数 た必修の実験・	・実習・実	評価		510 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第:	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実 D授業時数	評価		510 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第:	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実 D授業時数	評価		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第:	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実 D授業時数	評価		510 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第:	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	・実習・実 D授業時数	評価		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、BD・ずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 5、例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 総数による算定) 総単位数	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した まないである。	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの持	・実習・実 D授業時数 受業時数)	評価		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た、例えば以下についても 評価団体: www.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 2 数による算定) 総単位数 うち企業	et/ 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携したインタ・	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの打	・実習・実 D授業時数 受業時数)	評価		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た 例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した実験・実 等と連携した演習の単	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの打	・実習・実 D授業時数 受業時数)	評価		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 17 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、BD・ずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た、例えば以下についても 評価団体: www.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 2 数による算定) 総単位数 うち企業	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した実験・実 等と連携した演習の単	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの打	・実習・実 D授業時数 受業時数)	評価		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、BD・ずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た 例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 等と連携した実験・実 等と連携した演習の単	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの打 習・実技の単位 位数	・実習・実 の授業時数) 受業時数) 立数	技の授業時数		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 17 単位 0 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た 例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業	et/ 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインタ・ 等と連携した演習の単 単位数	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの打 習・実技の単位 位数	・実習・実 ⑦授業時数) 受業時数) 立数	技の授業時数		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 17 単位 0 単位 80 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、BD・ずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た。例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総数による算定) 総数による算定) 総数による算定) おから のである。 のでまる。 のである。 のでる。 のである。 ので。 のである。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 の		習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの計 習・実技の単位 位数 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実 ⑦授業時数) 立数 ・実習・実 の単位数	技の授業時数		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 1,700 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 80 単位 17 単位 0 単位 80 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た。例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2 数による算定) 総関業時数 うち企業 うち必修	を記載をは、	習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの計 習・実技の単位 位数 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実 ⑦授業時数) 立数 ・実習・実 の単位数	技の授業時数		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 0 単位 17 単位 17 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た。例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2 数による算定) 総関業時数 うち企業 うち必修	を記載をは、	習・実技の授業 業時数 た必修の実験 た必修の演習の ーンシップの計 習・実技の単位 位数 た必修の実験 た必修の実験	・実習・実 ⑦授業時数) 立数 ・実習・実 の単位数	技の授業時数		510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 0 単位 17 単位 17 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3、例えば以下について 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 (うち企 (うち企		習・実技の授! 業時数 た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの! 習・実技の単信 位数 た必修の演習の ーンシップの! た必修の演習の	・実習・実 の授業時数) 立数 ・実習・実 の単位数)	技の授業時数	A~-ÿURL	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 17 単位 0 単位 80 単位 17 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、BD・ずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た、例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 D授業時数) 立数 ・実習・実 D単位数 (事体を	技の授業時数	A~-ÿURL	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 0 単位 17 単位 17 単位 0 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3:		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 D授業時数) 立数 ・実習・実 D単位数 (事体を	技の授業時数	A~-ÿURL	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 17 単位 0 単位 80 単位 17 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、BD・ずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 た。例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企企業 うち必修 (うち企 放数による類定) 総数 うち企企業 うち必修 (うち企 でのできる。 でのでのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのででででできる。 でのででのでででででででででででででででででででででででででででででででで		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 予した ・実習・実 ・実習・実 の単位数 ・実も数 ・実も数 ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・実もの ・である。 ・でる。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で。 ・で	評価 ホー 技の授業時数 技の単位数	519)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 17 単位 0 単位 80 単位 17 単位 0 単位 0 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した と実際の実施状況か に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第:		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 D授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実 D単位数) (専修等	辞価ポーク 技の授業時数 技の単位数 学校設置基準第41条第1項第	ムページURL 51号)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 80 単位 17 単位 0 単位 0 単位 3 単位 3 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の以上状れかに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 ネ・例えば以下について 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 放したよる算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 でうち企業 うち必修 (うち企 でうち企業 うち必修 (うち企 での担等すす限となる者 での担等する数と当 での担等をする数と当 での担等をする数と当 でのでする数と当		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 の受業時数) 立数 ・実習・実 の単位数) (専修年 (専修年	 技の授業時数	51号) 52号) 53号)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 30 単位 17 単位 0 単位 30 単位 57 単位 58 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した状況 (A、Bいずれかに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3: 5: 例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 変別による第定) 総単位数 うち企業 うちを全 である第一 での教育当等は限る者を発生した。 (うち企 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 の受業時数) 立数 ・実習・実 の単位数) (専修年 (専修年	辞価ポーク 技の授業時数 技の単位数 学校設置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 80 単位 17 単位 0 単位 0 単位 3 単位 3 人	
学校評価 当該学科のホージー 以RL 企業等を変換を連携した決すのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3 ネ・例えば以下について 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 放したよる算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 でうち企業 うち必修 (うち企 でうち企業 うち必修 (うち企 での担等すす限となる者 での担等する数と当 での担等をする数と当 での担等をする数と当 でのでする数と当		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 の受業時数) 立数 ・実習・実 の単位数 (専修等 (専修等 (専修等	 技の授業時数	ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 30 単位 17 単位 0 単位 30 単位 57 単位 58 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれか に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3: 5: 例えば以下についても 評価団体: ww.anabuki-college.n 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 変別による第定) 総単位数 うち企業 うちを全 である第一 での教育当等は限る者を発生した。 (うち企 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 の受業時数) 立数 ・実習・実 の単位数 (専修等 (専修等 (専修等	辞価ポーク 技の授業時数 技の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 30 単位 17 単位 0 単位 30 単位 3	
学校評価 当該学科のホージ URL を業等をの実施状況 に記入) を表現の「に記入」	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3:		習・実技の授う 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ で必修の実力の計 で必修の実験・ でながをの変験を でない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実 の受業時数) 立数 ・実習・実 の単位数 (専修等 (専修等 (専修等	辞価ポーク 技の授業時数 技の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	ムページURL 51号) 52号) 53号) 54号)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 17 単位 0 単位 30 単位 3	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれか に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3:	をは/ 等と連携した実験・実等と連携した演習の授: 授業時数 「うち企業等と連携した演習の授: 大きな業等と連携した演習の授: 大きな業等と連携した演習ので、要等と連携した演習ので、要等と連携した演習ので、要等と連携した演習ので、要等と連携した演習ので、要等と連携した演習ので、要等と連携したで、要等と連携したである。 までは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	習・実技の授う 業時数 た必修のの実験・ため修のの実験・ため修のの実質の ためのをののでである。 を必要をある。 を必要をある。 ためのでである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実習・実 D授業時数) 立数 ・実習・数 単位数) (専修等 (専修等 (専修等	技の授業時数 技の授業時数 技の単位数 全校設置基準第41条第1項第 全校設置基準第41条第1項第 全校設置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号) 54号)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 17 単位 0 単位 30 単位 3	
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれか に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第3:	E意記載 et/ 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の投資を主選した。 すち企業等と連携した演習のを主選がある。 なる企業等と連携した演習のを主選がある。 なる企業等と連携した演習のを主選がある。 なる主要をした。 なる主要をした。 なる主要をいる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	習・実技の授う 業時数 た必修のの実験・ため修のの実験・ため修のの実質の ためのをののでである。 を必要をある。 を必要をある。 ためのでである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実習・実 D授業時数) 立数 ・実習・数 単位数) (専修等 (専修等 (専修等	辞価ポーク 技の授業時数 技の単位数 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第 を校設置基準第41条第1項第	51号) 52号) 53号) 54号)	510 単位時間 0 単位時間 1,700 単位時間 510 単位時間 510 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 17 単位 0 単位 30 単位 3	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

動物病院で働く動物看護師として必要な知識と技術を習得するためのカリキュラムを編成している。診療現場で役立つ的確な作業を身につけるため、実際に診療にあたっている獣医師、看護師から技術を学び、又自分で考え、迅速に的確な作業を行うための獣医療知識を獣医師、看護師から学べるカリキュラム編成を行っている。このようなカリキュラム編成、授業内容について編成委員から広く意見をいただき、必要とされる動物看護師を養成するためのプログラムを改善構築している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体や企業等から意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
高重 宏一		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	1
篠原 公七		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	1
原 有希		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	3
岩澤 正俊	専門学校穴吹動物看護カレッジ	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
戸倉 潤也		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
林 勇樹	B P 'ラ'なジパ クク B 1ククリ 左 年 丁 - ハハ ,	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、2月予定)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年12月16日 14:00~15:00 第2回 令和7年2月26日 14:00~15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

動物病院での採用が飽和状態になり、今後の新規採用への影響が予想されるため、地方行政での採用を目指してのカリキュラム検討の必要性についてご意見をいただいた。カリキュラムの見直しを行い、採用枠の拡充を目指すこととする。外部の競技会参加によって学ぶことが多々あり、学生の成長につながるのではないかとのご意見をいただいた。県外も含めて情報を集め、学生がスタッフとしてお手伝いするなど学部で学ぶ機会を創出し、物事に取り組む姿勢の変容を狙うこととする。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通じてより一層のスキルアップにつながるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生にとって効果的な授業となるよう、当校における授業科目の目的や内容を事前にしっかりと打ち合わせを行い、企業と学校が共通理解・共通努力をする。科目の全時間を企業が担当する場合は、シラバスを授業担当者がその期が始まる前に作成し、年度末に行われる各学科の担当者会議に持ち寄り意見交換し授業内容を決定する。また、担当授業部分に関しては、期末に成績評価を企業の授業担当者が行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
アジリティ実習 I・II	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	アジリティの基本や歴史から犬と の信頼関係の大切さを学ぶ。	株式会社ドッグアドベンチャー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

現在就いている職または将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に 必要な能力を及び資質等の向上を図るため、教員は学内および学外で研修に参加し、自らの見識・技能の幅を広げそれを 教育の現場で反映させていくこととする。学校は、教職員研修規定に従い、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用し た教職員に対して「新任者研修」、管理職教職員に関しては「管理者研修」、また各々指導分野における実務研修・見学研 修を計画的に実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

トリマー義務研修 連携企業等: JKC 研修名:

令和6年8月 対象: 教員 期間:

内容 ワイヤーフォックステリアの講習会

連携企業等: 全国動物専門学校協会 愛玩動物看護師養成研修 研修名:

令和6年8月 対象:動物看護系教員 期間:

動物内科看護学実習の指導について、動物生活環境学ペット関連産業界の 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

キャリアサポーター養成講座 研修名: 連携企業等:職業教育・キャリア教育財団

対象: 全教職員 期間: 令和6年8月

学生が自分自身のキャリア(仕事人生)を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く 内容

浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド(態度や姿勢・考え方)を学ぶ

LGBTQの基礎知識 連携企業等: 穴吹教育総合研究所 研修名:

令和6年8月 対象: 全教職員 期間:

内容 多様性の理解

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

トリマー義務研修 連携企業等: JKC 研修名:

期間: 令和7年8月 対象: 教員

シニア犬のトリミング技術講習 内容

愛玩動物看護師養成研修 連携企業等: 全国動物専門学校協会 研修名:

期間: 未定 対象:動物看護系教員

愛玩動物看護師養成に関連した内容 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等:職業教育・キャリア教育財団 研修名: キャリアサポーター養成講座

期間: 令和6年8月 対象: 全教職員

学生が自分自身のキャリア(仕事人生)を主体的に設計・選択・決定できるように支援するという理念を広く 内容

浸透させ、教職員として身に付けるべきマインド(態度や姿勢・考え方)を学ぶ

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換などを通じて、学校運営及び教育活動などの評価を積極的に行い、その結果に基づき改善を 図ることでより良い人材の育成に努める

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
││(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3)教育活動	教育理念に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災、安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効果的に実施されているか。納付金の取り扱いは
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法令順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献できているか、等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各評価項目の改善に取り組んでいる卒業生の就労状況の把握、離職の把握などの必要性に指摘があり、卒業生に対する現状把握に取り組んだ

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
森川 崇		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	元高校関 係委員
喜多 泰三	県立農業経宮局等字校校長	31日(1年)	高校関係 委員
蓮井 良太	はずい動物病院	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	業界委員
木村 昭代	一一一一一一	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	近隣移住 者委員
吉田 朋美	学生保護者	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	РТА

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: http://wwww.anabuki.ac.jp

公表時期: 令和7年12月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業などの関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めていただくため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報 公開のツールとしてホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学数、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況な、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、職業支援等への取り組み状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動の取り組み、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取り組み状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支決算書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

http://wwww.anabuki.ac.jp 令和7年12月1日 URL:

公表時期:

授業科目等の概要

	授業科目等の概要															
		分類				配	授		授	(業)	方法	場	所	教	員	企
	必	選	自			当年	業	単	講	演	実験	 校	校	専	兼	業等
	~	択	由	授業科目名	授業科目概要	次		位	ur7	///	技実	^	<u>`</u>		AK.	غ
	修	必修	選択			学	時	数	義	習	習・	内	外	任	任	連
						期	数				実					携
1	0			コンピュータ実習 I	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う	1 後	30	1			0	0			0	
2	0			コンピュータ実習 Ⅱ	情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン 次調を通し、パソコンの基本操作を学 び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機 能、グラフ作成機能、データベース機能を 相用し、わかりやすい集計資料などの作成 能力を養う	2 前	30	1			0	0			0	
3	0			サービス接遇 講座I	サービス接遇検定3級取得のための勉強を 適して、社会人として必要なマナー・接客 スキルを身につける。接客の基礎を学ぶことによって、ベットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得することにまか理を理解することになって、他人へ配慮する気持ちを身につける。	1 前	60	4	0			0		0		
4	0			サービス接遇 講座 II	サービス接遇検定2級取得のための勉強を通 して、社会人としての必要なマナー・接客 スキルを身につける。接客の基礎を学ぶこ とによって、ペットショップスタップとし ての業務をストレスなく行える力を習得す る。お客様心理を理解することによって、 他人へ配慮する気持ちを身につける。	1 後	60	4	0			0		0		
5	0			サービス接遇 講座Ⅲ	サービス接通検定準1級に合格する接客の基本スキルを身につける。接客の基本を学ぶことにより、ベット業界スタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する。 グループ練習を通して、多様性を理解し、 協当性とコミュニケーション力を習得する。	2 前	20	1	0			0		0		
6	0			社会人基礎講 座 I	専門学校での学習の意味を理解し進路を決 定する際に必要な知識とスキルを身につけ る。	1 後	30	2	0			0		0		
7	0			社会人基礎講 座Ⅱ	専門学校での学習の意味を理解し、進路を 決定する際に必要な知識とスキルを身につ ける。就職活動に必要な知識・技術を学び 習得する。	2 前	30	2	0			0		0		
8	0			犬種標準学 I	日本で飼われている種類を抜粋し生態、外観、飼育方法を身につける。	1 前	30	2	0			0			0	
9	0			犬種標準学Ⅱ	犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分 野で役に立つようにする。	1 後	30	2	0			0			0	
10	0			ペット美容学 I	犬の毛や手入れの基礎を知り犬の管理を学 ぶ。	1 前	30	2	0			0			0	
11	0			ペット美容学 Ⅱ	犬の毛や手入れの基礎を知り犬の管理を学 ぶ。実技に役立てる。	2 後	30	2	0			0			0	
12	0			グルーミング 実習BASIC I	グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い 方と、美容道具の扱い方を学ぶ。	1 前	90	3			0	0		0		
13	0			グルーミング 実習BASIC II	グルーミング作業(ブラッシング・ベイジ ング・ドライング・爪切り・耳そうじ・ク リッピング・足回り)を学ぶ。	1 後	90	3			0	0		0		
14	0			トリミング実 習BASIC I	トリミング(犬のカット)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方、様々なカット様式を学ぶ。	2 前	60	2			0	0		0		
15	0			トリミング実 習BASICII	アップさせる。	2 後	60	2			0	0		0		
16	0			動物看護学 I	犬描に良く見られる疾病とその処置について学ぶ。	1 前	30	2	0			0		0		
17	0			動物看護学Ⅱ	イヌ・ネコに携わる業務に就くにあたり、 必要とされる動物のケアに関する知識・技 術について学ぶ。	2 後	30	2	0			0		0		
18	0			繁殖飼育学	犬の繁殖に関して、繁殖適期や禁忌となる ブリーディングなどについて学ぶ。 理学動物に関する法律・動物の習性・疾	2 後	30	2	0			0			0	
19	0			動物飼養管理 学 I	理学 動物に関する法律・動物の 首性・疾病・適切な飼養について学び、愛玩動物と 人との共存を考える。動物飼養管理士の資 格取得を目指す。	1 後	30	2	0			0		0		
20	0			動物飼養管理 学 Ⅱ	動物飼養の理解と検定取得 動物に関する法律・動物の習性・疾病・適 切な飼養管理について学び、愛玩動物と人 との共存を考える。愛玩動物飼養管理士2級 合格レベルの知識を身に付ける。	2 前	60	4	0			0		0		
21	0			動物飼養管理 学Ⅲ	動物飼養の理解と検定取得 動物に関する法律・動物の習性・適切な飼 養について学び、愛玩動物と人との共存を 考える。愛玩動物飼養管理士2級合格レベ ルの知識を身につける。	2 後	30	2	0			0		0		

22	0		動物行動学 I	動物、おもに大についての生態、行動を学び理解する。動物と人間がいかに共存できるか学習する。	1 前	30	2	0		0			0	
23	0		しつけトレー ニング実習 I	犬が人間社会で暮らしていくために必要な ルールやマナーを学ぶ。訓練基礎を習得す る。	1 前	60	2		0	0			0	0
24	0		しつけトレー ニング実習 II	担当犬と信頼関係を築く。	1 後	60	2		0	0			0	0
25	0		しつけトレー ニング実習Ⅲ	犬の集中力・正確さをやしなう。	2 前	90	3		0	0			0	0
26	0		しつけトレー ニング実習IV	警察犬訓練・セラピー活動での珍芸を覚える。	2	90	3		0	0			0	0
27	0		アジリティ実 習 I	アジリティの基本や歴史から犬との信頼関 係の大切さを学ぶ。	1 前	30	1		0	0	0		0	0
28	0		アジリティ実 習Ⅱ	遠隔で犬と人が意思を通じ合わせる。簡単なアジリティを知る。	1 後	60	2		0	0	0		0	0
29	0		アジリティ実 習Ⅲ	アジリティについて深く理解する。	2 前	60	2		0	0	0		0	0
30	0		アジリティ実 習IV	アジリティをすべて知る。	2 後	60	2		0	0	0		0	0
31	0		ドッグトレ ー ニング概論 I	ドッグトレーニングの重要性を理論的に理解し、実践に役立てる。	1 後	30	2	0		0			0	
32	0		ドッグケア学	犬の一生(ライフステージごと)のアドバ イスができる学び。	1前	30	2	0		0			0	
33	0		動物機能形態 学 I	犬種ごとの骨格構成や性質を学ぶ。	2 前	30	2	0		0			0	
34	0		ハンドリング 学 I	ショーハンドリングを習得することにより、犬の心理状況や扱いを学ぶ。	1 後	30	1		0	0			0	
35	0		ハンドリング 学Ⅱ	ハンドリング試験と同じ科目を練習する。 人の練習でもあるが犬に科目を教えること が目的である。	2 前	30	1		0	0			0	
36	0		問題行動学I	犬の生態を理解し、人間と動物の共存について学ぶ。	2 前	30	2	0		0			0	
37	0		問題行動学Ⅱ	問題行動を実践的に学ぶ。	2 後	30	2	0		0			0	
38	0		AAA実習 I	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活動方法を考える。	2 前	30	1		0		0	0		
39	0		AAA実習 II	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活動方法を考える。	2 後	30	1		0		0	0		
Г		合	ā†	39	1	排目			80	単	位 (単位	時間	1)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 期末試験・実技評価・出席率等で評価	1 学年の学期区分 2 非	期
履修方法: 必須科目のすべてを決められた期間で履修すること。	1 学期の授業期間 15 減	週

履修方法:必須科目のすべてを決められた期間で履修すること。 1 学期の授業期間 (留意事項)
 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。